

第3回京田辺市複合型公共施設整備基本構想検討懇話会
議事概要

<複合型公共施設整備の方向性と整備イメージについて>

- 整備の方向性で示されている1番目の「いつでも誰でも文化を楽しむことができる」と2番目の「日常的に文化を楽しむことができる」の、「いつでも」と「日常的」は、同じような内容に捉えられるので、表現を工夫していただきたい。
- 複合型公共施設の事業と施設機能の模式図の中で、「市民対象」と「市民利用」の違いが明確になるように検討いただきたい。
- 社会教育法で規定される公民館機能のまま再整備されるのではなく、入場料を徴収できるなど利用者の自由度が確保されるようにしていただきたい。
- 子連れで訪れても楽しく過ごせる図書館や若い子育て世代が利用できる一時保育の機能があると良い。
- 区画整理事業組合（地権者）とは、適切な関係のもと、本計画を円滑に進めていただきたい。
- 大規模集客施設なので、救護の有資格者を配置するなど安心安全に利用できる施設整備をしていただきたい。

<管理運営と事業手法について>

- 運営については、黒字は難しいが、市民は健全な経営をしていただくことを望むと思う。そうした点を踏まえつつ、公民館機能、文化ホール機能、図書館機能の3つの機能を融合化していくために望ましい民間活用の方法を検討していただきたい。また、全体をコーディネートする主体については、3つの機能間で円滑に交流・連携が図られ、また行政との双方向のコミュニケーションを図ることを重視しながら、十分に検討していただきたい。
- 会社帰りや買い物帰りに立ち寄れ、若者も含め多様な世代が集まり、賑わいを創出するためには、採算を念頭におきながらも、ソフトも含め斬新で集客力のある施設を実現していくことが重要だと思う。
- 他都市の事例では、運営費の6割は行政が負担し、4割は自主事業や貸館事業の収入であるといわれるが、ランニングコストについては、効率化も含め、財政面に十分に配慮しながら検討していただきたい。
- 民間に委託する際には、KPI（成果指標）の設定の仕方により、基本構想の方針が、民間の斬新なアイデアを活用して実現できるように検討していただきたい。
- 近隣に計画されている商業施設の収益が複合型公共施設に還元される仕組み（企業版ふるさと納税など）を検討していただきたい。
- 駐車場は基本構想案では約200台としているが、適切な台数と料金について、検討していただきたい。交通手段についても、バスなどの公共交通を含めいろいろ検討していただきたい。

<市民参加と情報発信について>

- 基本計画を策定し、整備を進める間に市民が期待を持ってもらえるような仕掛けを検討していただきたい。
- どういう使い方をするか、どういうイベントをしたいのかなどをみんなで考えていくワークショップを随時すると、施設ができる前に、施設の使い方をイメージしている市民がどんどん増える。ワークショップを開催する際は、基本計画、基本設計など段階に応じて適切なテーマを設定し、また人選も偏りがないように検討していただきたい。
- 本計画に関心のない市民の方などに関心をもってもらうことが重要なので、広報をしっかりとやっていただきたい。
- パブリックコメントでも良いが、中学生や高校生の保護者からの意見を提供する場があると良い。
- イベント開催時などに、市民向けに本計画をPRできるようなツールがあれば提供いただきたい。
- 本基本構想の概要版は読みやすいよう、デザイン等を工夫してほしい。そうすると、PRツールとしても活用できると思う。